

製品名: CYP2U1 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab09661**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	61kDa

抗原情報

遺伝子名	CYP2U1
別名	CYP2U1; Cytochrome P450 2U1
遺伝子 ID	113612.0
SwissProt ID	Q7Z449
免疫原	抗血清はヒトシトクロム P450 2U1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 281-330

背景

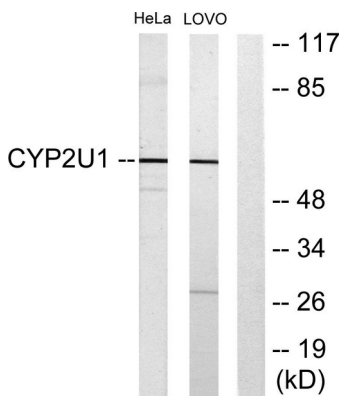
この遺伝子は、シトクロム P450 スーパーファミリー酵素のメンバーをコードしています。シトクロム P450 タンパク質はモノオキシ

ゲナーゼであり、薬物代謝やコレステロール、ステロイド、その他の脂質の合成に関わる多くの反応を触媒します。この酵素は、アラキドン酸、ドコサヘキサエン酸、その他の長鎖脂肪酸を代謝する水酸化酵素です。[RefSeq 提供、2008年7月]、触媒活性: $RH + \text{還元型フラビントタンパク質} + O(2) = ROH + \text{酸化型フラビントタンパク質} + H(2)O$ 、補因子: ヘム基、発生段階: 胎児胸腺で発現、機能: アラキドン酸、ドコサヘキサエン酸、その他の長鎖脂肪酸の水酸化を触媒します。アラキドン酸シグナル伝達経路を調節し、他の脂肪酸シグナル伝達プロセスにおいて役割を果たす可能性がある。類似性: シトクロム P450 ファミリーに属します。組織特異性: 広く発現しており、胸腺、心臓、小脳でより強い発現を示します。、

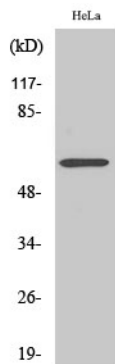
研究分野

アラキドン酸代謝;

画像データ



HeLa 細胞および Lovo 細胞のライセートをシトクロム P450 2U1 抗体を用いてウェスタンブロット解析した。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



CYP2U1 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析